

畜 号 外
平成24年 3月 2日

全国農業協同組合連合会岩手県本部県本部長
岩手県農業共済組合連合会会長理事
社団法人岩手県畜産協会会長理事
社団法人岩手県獣医師会会長
社団法人岩手県配合飼料価格安定基金協会理事長
社団法人岩手県農畜産物価格安定基金協会理事長
岩手県チキン協同組合理事長
岩手県鶏卵販売農業協同組合代表理事組合長
岩手県養鶏協会会長

様

岩手県農林水産部畜産課総括課長

野鳥からの A 型インフルエンザウイルス (H7 亜型) の検出について

このことについて、平成 24 年 2 月 29 日 (水) に本県岩手郡滝沢村において回収されたカルガモ 1 羽の死体から、別添のとおり、H7 亜型遺伝子陽性の A 型インフルエンザウイルスが分離されましたので、会員等に対し、本病の防疫措置に万全を期すよう周知をお願いいたします。

また、家畜保健衛生所が、家きん飼養農場等に対して、注意喚起及び臨床異状の有無の調査等を実施しますので、御協力をお願いいたします。

【振興・衛生担当 (関 慶久) TEL019-629-5729】

野鳥からのA型インフルエンザウイルス（H7亜型）の検出について（報告）

【要旨】 平成24年2月29日、滝沢村において回収されたカルガモ2羽の死亡個体について遺伝子検査を実施していたところ、本日H7亜型の鳥インフルエンザウイルスが確認されましたので報告します。

ウイルスの病原性（高病原性かどうか）等については、国が指定する北海道大学に検体を送付し、確定検査を行います。

※ 現時点で、高病原性鳥インフルエンザの発生が確認されたものではありません。

1 主な経緯等

(1) カルガモの回収地

滝沢村滝沢字葉の木沢山地内

(2) 経緯

- 2月29日、住民からの通報を受けて、岩手県中央家畜保健衛生所職員がカルガモ2羽の死亡個体を回収。
- 明らかな死亡要因が不明であったことから、同日、念のため鳥インフルエンザ簡易検査を実施したところ、陰性。
- ウイルスの有無を確認するため、中央家畜保健衛生所において、引き続きウイルス分離検査及び遺伝子検査を実施したところ、本日15時48分、2羽中1羽からH7亜型ウイルスを検出。
- 環境省により本日16時26分に野鳥監視重点区域（当該死亡野鳥が回収された場所を中心とする半径10km圏内）が設定された。

2 確定検査について

確定検査（病原性の高低）を行うため環境省の指定する北海道大学に本日検体を送付。結果判明には1週間程度を要する見込み。

3 今後の対応

- (1) 野鳥監視重点区域内の主要飛来地について、盛岡広域振興局保健福祉環境部職員及び鳥獣保護員等により1両日中に巡回するなど監視を強化。

※現場での取材は、ウイルスの拡散や感染を防ぐ観点から、厳に慎むようお願いいたします。